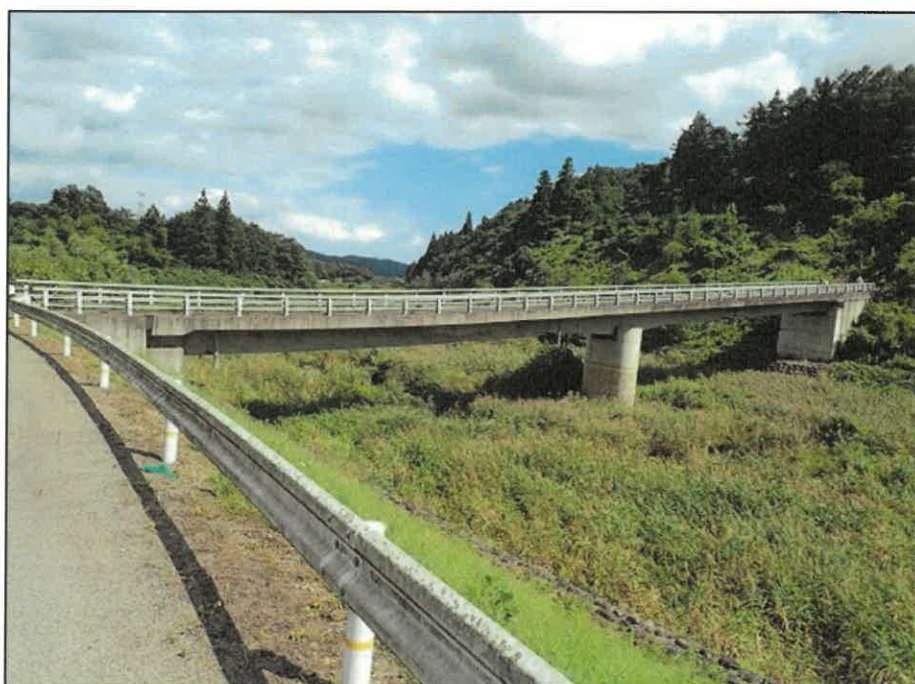


蔵王町林道施設長寿命化計画 (個別施設計画)



令和7年1月

蔵王町林道施設長寿命化計画（個別施設計画）

1. 基本的事項

蔵王町が管理する林道は、令和7年1月末で13路線（橋梁4施設）あります。橋梁においては、最も古いもので架設から40年、新しいもので20年が経過しており、点検・診断及び保全整備を随時実施している状況です。

蔵王町では、平成29年2月に「蔵王町公共施設等総合管理計画」を策定し、本町の所有管理する公共施設等の現状及び公共施設等を取り巻く将来見通しを基に、長期的・総合的な視点に立ち、今後15年間における公共施設等の管理の基本方針を定めました。

この方針に基づき、林道施設については、道路及び橋梁の通常点検、地震・豪雨等の災害が発生した場合に行なう異常時点検、及び橋梁を対象とした定期点検を実施します。

通常点検・異常時点検では、道路及び橋梁を対象とし、外部委託あるいは技術職員自らの巡視により道路の舗装や法面、排水等の状況を確認し、適宜管理・修繕を行います。

定期点検では、橋梁について、外部委託あるいは技術職員自らにより点検を実施し、その結果を基に施設の健全性を診断し、必要に応じて維持・補修・更新・機能強化を行います。

これらを踏まえ、維持管理に当たっては、「予防保全型維持管理」を導入することにより、対象施設の状況把握に努め、必要な対策を着実に進めていきます。

2. 対象施設

本計画の対象とする施設は蔵王町が管理する林道に架かる全ての橋梁とし、具体的な施設名等は別紙「個別施設計画一覧表（橋梁）」のとおりです。

3. 計画期間

本計画は、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とします。

4. 施設の優先度

本計画における施設毎の優先度は平成28年3月に林野庁整備化で策定された「林道施設長寿命化対策マニュアル」に基づいて、施設の健全度を判定し、施設毎に判断します。

施設毎の優先度については、別紙「個別施設計画一覧表（橋梁）」のとおりです。

5. 施設の状態等

本計画の策定に当たって実施した点検・診断により把握された（または本計画の策定時点で把握されている）施設毎の状態については別紙「個別施設計画一覧表（橋梁）」のとおりです。

なお、点検・診断が未実施の施設については、点検実施予定時期を記載しています。

6. 対策内容と実施時期

上記「施設の優先度」及び「施設の状態等」を踏まえ、施設毎に講じる対策の内容及び実施の時期について別紙「個別施設計画一覧表（橋梁）」のとおり計画します。また、点検・診断の結果は、維持補修等の計画を行う上で参考となる情報であるため、定期点検調査帳票等を適切に保管し、蓄積します。

7. 対策費用

個別施設ごとの対策費用の概算については別紙「個別施設計画一覧表（橋梁）」のとおりです。なお、この金額は計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や社会情勢の変化等により、金額に変動が生じる場合があります。

【更新年月日:令和7年1月 日】

[illegible]

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	1	林道台帳索引番号番号	1	施設管理者	蔵王町
路線名	横柴線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	横柴橋
施設の所在地	蔵王町遠刈田温泉字横柴山	起点からの距離	-	建設年度	2004年
供用年数	20	種別	PC橋	型式	2径間連続ボステンション方式PC中空床版橋
道路橋示方書	平成2年度版	橋格(設計荷重)	2等級(14t)	橋下条件	秋山沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	61m(60.6m)		幅員(車道幅員)	5.2m(4.0m)
	施設の構造等	上部工型式	2径間連続ポストテンション方式PC中空床板橋			
			鋼製(使用鋼材)	—		塗装使用の有無
		支承形式	ゴム支承		落橋防止の有無	有
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎
	橋脚工型式	小判型橋脚		海岸からの距離	—	
施設の目的利用実態等	林道横柴線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は災害時等の迂回路や近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年8月27日				
	調査結果	防護柵に変形が見られる。状況に応じて部材交換等の補修が必要である。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	車両等の接触により変形したものと推定する。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和7年度～令和11年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和11年				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 健全性Ⅱの診断結果から優先度を「中」とした			
	対策費用(概算)	0.8(百万円)				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年	令和16年
対策費用（百万円）					0.8					0.8
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	2	林道台帳索引番号番号	12	施設管理者	蔵王町
路線名	青麻山線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	八山橋
施設の所在地	蔵王町遠刈田温泉字八山	起点からの距離	-	建設年度	1998年
供用年数	26	種別	PC橋	型式	プレテンション方式単純床版橋
道路橋示方書	平成8年度版	橋格(設計荷重)	2等橋(14t)	橋下条件	沢(町管理)

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.9m(8.4m)		幅員(車道幅員)	6.7m(5.5m)	
	施設の構造等	上部工型式	プレテンション方式単純床版橋				
			鋼製(使用鋼材)	—		塗装使用の有無	—
		支承形式	ゴム支承		落橋防止の有無	有	
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎	
	橋脚工型式	—		海岸からの距離	—		
施設の目的利用実態等	林道青麻山線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は災害時等の迂回路や近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。						
施設の 状態等の 概要	点検診断日	令和6年8月27日					
	調査結果	防護柵及び排水施設に維持工事での対応が望ましい損傷が見られる。その他は、次回点検まで経過観察とする。					
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。				
	劣化原因	経年による劣化及び土砂堆積と推定する。					
長寿命化計画の内容	計画期間	令和7年度～令和11年度					
	内容	定期点検					
	実施予定時期	令和11年					
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 健全性Ⅱの診断結果から優先度を「中」とした				
	対策費用(概算)	0.7(百万円)					
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。						

	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年	令和16年
対策費用（百万円）					0.7					0.7
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	3	林道台帳索引番号番号	8	施設管理者	蔵王町
路線名	古林線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	古林1号橋
施設の所在地	蔵王町大字平沢字古林	起点からの距離	-	建設年度	1984年
供用年数	40	種別	PC橋	型式	単純PC桁
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢(町管理)

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.4m(10.4m)		幅員(車道幅員)	3.8m(3.0m)	
	施設の構造等	上部工型式	単純PC桁				
			鋼製(使用鋼材)	—		塗装使用の有無	—
		支承形式	—		落橋防止の有無	—	
		橋台工型式	重力式橋台(推定)			基礎形式	直接基礎(推定)
	橋脚工型式	—			海岸からの距離	—	
施設の目的 利用実態等	林道古林線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。						
施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年8月28日					
	調査結果	主桁につらら状の遊離石灰が見られる。その他は、次回点検まで経過観察とする。					
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。				
	劣化原因	経年による劣化及び土砂堆積と推定する。					
長寿命化計画の内容	計画期間	令和7年度～令和11年度					
	内容	定期点検					
	実施予定時期	令和11年					
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 健全性Ⅱの診断結果から優先度を「中」とした				
	対策費用 (概算)	0.5(百万円)					
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。						

	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年	令和16年
対策費用（百万円）					0.5					0.5
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考	

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	4	林道台帳索引番号番号	8	施設管理者	蔵王町
路線名	古林線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	古林2号橋
施設の所在地	蔵王町大字平沢字古林	起点からの距離	-	建設年度	1984年
供用年数	40	種別	RC橋	型式	単純RC床板
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢(町管理)

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.4m(4.4m)		幅員(車道幅員)	4.6m(3.8m)	
	施設の構造等	上部工型式	単純RC床板				
			鋼製(使用鋼材)	—		塗装使用の有無	—
		支承形式	—		落橋防止の有無	—	
		橋台工型式	重力式橋台(推定)			基礎形式	直接基礎(推定)
	橋脚工型式	—			海岸からの距離	—	
施設の目的利用実態等	林道古林線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。						
施設の状態等の概要	点検診断日	令和6年8月28日					
	調査結果	堅壁にひび割れが見られる。前回点検からひびわれ幅に広がりが見られるため、損傷の進行は早いと考えられる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。その他は、次回点検まで経過観察とする。					
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。				
	劣化原因	経年による劣化及び土砂堆積と推定する。					
長寿命化計画の内容	計画期間	令和7年度～令和11年度					
	内容	定期点検					
	実施予定時期	令和11年					
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 健全性Ⅱの診断結果から優先度を「中」とした				
	対策費用(概算)	0.5(百万円)					
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。						

	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年	令和16年
対策費用（百万円）					0.5					0.5
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考	